

# 孝栄会情報局

TEL. 0284-71-3191

FAX. 0284-71-3153

E-mail: g-home@nifty.com

http://www.koueikai.com

No.25 2013 晩秋号

## Program

- 孝栄会 遊歩道
  - ・クリニカルパスの導入!
  - ・転倒予防は足元から ~患者さんの靴選び~
  - ・「地域活き活き講座」を開催しました!
  - ・指定特定相談支援事所ハートランド 計画相談が始まって...
  - ・在宅介護のポイント ~入浴編~
- お知らせ
  - ・まさおの縁側



パン食い競争に奮闘する利用者さん



真剣な表情で玉入れをする利用者さん



## 秋の運動会を開催!!

平成25年10月18日(金)、グリーンホーム施設内の多目的ホールにて、運動会を開催しました。競技は「パン食い競争」「玉入れ」と、パン食い競争のパンをお菓子に変えた「お菓子狩り」の3種目でした。

まずは準備体操ということで、全員でラジオ体操を行いました。毎日行っているもので、皆さん息がピッタリです。体をほぐしたら、いよいよ競技開始です!

パン食い競争で使用したパンの中身は、あんこ・クリーム・チョコの3種類で、皆さんそれぞれに「何が入ってた?」などと言いながら、戦利品をおいしそうに召し上がっていました。おかし狩りでは、頭上にたくさん実ったおかしを「どれにしようかな〜♪」といった表情で、皆さん楽しそうに取られていました。玉入れは、紅白チームに分かれて行いました。皆さん童心に帰ったように夢中で玉を投げ、双方とも相手チームに負けてなるものか!と白熱した試合展開でした。

ひと汗かいた後は、食堂でおやつとジュースを食べながら「面白かったね〜(^▽^)♪」とおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしました。

これからも、クリスマス・お正月・節分などなど、利用者さんに楽しんで頂けるような催し物を、職員一同で行っていきたいと思います。

介護老人保健施設 グリーンホーム 介護福祉士 岩崎 久美子

# クリニカルパスの導入!

## 1. クリニカルパスとは?

提供する治療、検査、ケアなどを標準化し、タイムスケジュール化したものです。特定の疾病や症状などを抱える患者さんに対して、入院から退院、教育指導など決められた経過をたどるものとして、時間の経過を横軸、検査やケアの介入を縦軸にして、スケジュール表にまとめたものです。

## 2. クリニカルパスに関わるスタッフは?

入院から退院まで患者さんに必要な治療やケアに介入する全スタッフが対象です。医師、看護職員、介護職員、精神保健福祉士、作業療法士、理学療法士、薬剤師、心理士、管理栄養士、事務職員など、全てのスタッフに関わります。

## 3. クリニカルパスの活用による利点とは?

タイムスケジュールで必要な治療ケアを表示し、医療ケアの実施忘れを防ぎ、経過を明確にします。これまで医療スタッフの個々の能力や臨床経験によって差が出ていることも少なくなかった医療ケアが、誰が行っても同じように質の高いケアを提供できるようになります。

## 4. クリニカルパスの作成にあたって

今回、クリニカルパスを作成するために“クリニカルパス作成チーム”が結成され、それぞれの部門から選任されています。他職種によるメンバーが時間を費やし医療の質とは何かを再認識しながら、当院における入院治療ケアには、どのようなものがあるのか見直していき、それと同時に入院から退院までの治療ケアに今後はどのようなケアを提供すべきか、または改善していくケアは何かなど検討していきました。その結果、入院から退院までを3ヶ月とした目標設定のクリニカルパスができました。



▲スタッフ用パス



▲患者さん用パス

当院でのクリニカルパスは、疾患別のクリニカルパスとして、統合失調症に対応しています。今後は、そのクリニカルパスを活用し、実際の治療ケアの経過を振り返り、より質の高い、効率的なケアへと業務改善に役立てていく予定です。

第2病棟 看護師 長谷川

## 転倒予防は足元から ～患者さんの靴選び～

高齢になると、身体機能の低下や病気などにより、歩行に問題が生じやすくなります。筋力の低下により、ちょっとした段差につまずいたり、靴の着脱が難しくなり、かかとの部分をふんだまま歩行したり、むくみや加齢による足の変形などで、歩行バランスを崩して転倒する要因が多くなります。当病棟の約60%は65歳以上の高齢の患者さんであり、高齢化が進むなかで、転倒の要因も増加しているため、今回、靴の見直しを行うことになりました。

まずは以下の3種類を候補にあげ、該当する患者さん自身に気に入った色を選び、購入しました。

足の形や歩き方を考慮し、つまずきやすい人は、つま先が少し上がっているもの。



外反母趾により、足の形が変形している人には、足先が広く余裕のあるもの。



柔らかく軽量で、着脱が楽に行えるもの



その結果、新たに6名の患者さんが介護シューズを使用することとなり、当病棟全体では、23名の患者さんが介護シューズを使用しています。

安全に歩行するためには靴だけではなく、足の筋力維持もとても必要なことです。今後は筋力維持についても作業療法士や理学療法士と連携し、取り組んでいきたいと考えています。

第1病棟 介護福祉士 猿橋

# “地域活き活き講座”を開催しました。

高齢化社会の到来が叫ばれる昨今、2004年に“痴呆”の呼び名が“認知症”に変更されました。高齢化の進展とともに認知症の人数も増加し、厚生労働省研究班の調査によると、2012年には、65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍になったと報告されています。そのため、住み慣れた地域での生活を支え、専門的な医療に繋げるためには、“認知症”の原因や症状を理解し、予防や早期発見・早期対応が必要です。

その一環として、平成25年7月26日に当法人の地域活動支援センターハートランドにて、認知症や介護サービスについて認識を深めていただき、意見交換や地域との連携を深める機会にもなればと考え、日頃お世話になっている民生委員・婦人会の地域の方々を招いて“地域活き活き講座”を開催しました。

その講座の内容としては、

- 加齢による物忘れと認知症の違い
- 介護保険、在宅で利用できるサービスの種類と内容や介護保険サービス申請から利用に至るまでの流れ
- 在宅介護のポイント

上記の3点を“認知症について”と題し、当院診療部長の内田医師・介護老健施設グリーンホーム相談員の長岡・認知症グループホーム陽だまり管理者工藤が、それぞれ講師を務めました。

大きなテーブルを囲み、お茶菓子を食べながらの講演会だったこともあり、終始和やかな雰囲気で行われました。講演後には「認知症の方の突然のすごい力はなぜ?」「躁うつ病との違い」「地域の方で認知症と思われるが本人に自覚がない場合の対応方法」などなど…様々なご質問を頂きました。

今後は、今回の質問を参考にし、ニーズにあった講演会を開催していきたいと思ひます。ご案内の際は、是非ご参加下さい。

アシスト 精神保健福祉士 天 間

## 講座の案内ちらし▶



▲講演中の内田医師

## 地域生活活き講座のお知らせ

高齢化社会の到来が叫ばれる昨今、2004年に“痴呆”の呼び名が“認知症”に変更されました。高齢化の進展とともに認知症の人数も増加し、厚生労働省研究班の調査によると、2012年には、65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍になったと報告されています。そのため、住み慣れた地域での生活を支え、専門的な医療に繋げるためには、“認知症”の原因や症状を理解し、予防や早期発見・早期対応が必要です。

日時 平成25年 7月 26日(日) 午前10時30分～12時

場所 地域活動支援センターハートランド 会議室(〒250-0292 静岡県浜松市東区東山町1-1-1)

対象 認知症や介護サービスについて関心のある方(要介護認定は不要)

内容 認知症や介護サービスについて理解を深め、地域との連携を深める機会にもなればと考え、日頃お世話になっている民生委員・婦人会の地域の方々を招いて開催いたします。

講師 内田 誠(当院診療部長) 長岡 洋子(グリーンホーム相談員) 工藤 洋子(陽だまり管理者)

参加費 無料

申し込み 地域活動支援センターハートランド(〒250-0292 静岡県浜松市東区東山町1-1-1) 電話:053-461-1111

お問い合わせ 053-461-1111

▶和やかな雰囲気で行われました!



## 指定特定相談支援事業所『ハートランド』計画相談が始まって…

平成25年4月より、ハートランドでは、主に精神障害をお持ちの方を対象として、福祉サービスを利用する方の“サービス等利用計画”を作成しております。今回は、この計画の概要について説明させて頂きましたが、今回は、計画を立てていく中で、実際に利用した方やご家族から寄せられた質問や疑問点について、ご紹介したいと思います。

- Q1** サービスを利用するまでに認定調査、相談支援専門員さんと面接が何回かあるけど、面倒だし必要なの？
- Q2** なぜ、ケア会議をしたり、サービス利用開始後も訪問するの？
- Q3** サービス等計画に記入してある時間通りに自分が動かなければならないのか？窮屈な感じがする！！

**A1.** この認定調査は、サービスの必要性を明らかにするために法律上行うこととなっています。また、相談支援専門員が立てる計画は、支給決定の根拠となるため、よりご希望に添えるようにきめ細やかに情報収集する必要があります。ゆえに面接等が複数回にわたることもあります。利用者の方が面倒に感じてしまうかもしれませんが、認定調査時に相談支援専門員も同席したり、了承を得たうえで事前に関係機関より情報を聞くなど、事業所としても少しでも負担を少なくする工夫を行っているところです。



ケア会議の様子

**A2.** ケア会議は、サービス提供事業所が、利用者さんの希望や担うべき役割をきちんと把握するために開催します。サービス開始後も定期的に相談支援専門員が訪問するのは、サービスがご希望にあっているか？困ったことはないか？新たな希望がないか等の経過を確認するためのものになります。より良いサービスにしていく為に必要な会議や訪問と考えていただくと幸いです。

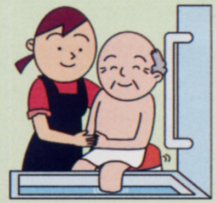
**A3.** 週間計画表は、利用者さんの1日の生活の基本的な流れや目安を表にしているものです。計画通りに生活しなくてはならないというものではありません。「作成された表に近い生活をするように心がける」という目標とお考えください。

“サービス等利用計画”は、利用者さんの想いや希望、意思を“形”にしたものといえます。これからも、ひとりひとりが安心した生活が送れるように、一緒にこの“形”を考えて行ければと思っております。

詳細や疑問は、お気軽にハートランド、前沢病院地域医療連携室 A S S I S T までお問い合わせください。

# 在宅介護のポイント ～入浴編～

入浴は清潔を保つ以外にも、リラックスしたり体の循環をよくしたりするなどの効果があるため、体調の良い時には毎日入っていただきたいものです。今回は、入浴介助のポイントをご紹介します。



介助の際には、まず浴室や周辺の環境を整えましょう。脱衣所や浴室はあらかじめ温めておきます。高齢になると、様々な動作にどうしても時間がかかってしまうので、特に寒くなるこれからの季節は、風邪など引かないように注意しましょう。洗い場には滑りにくく座りやすい椅子を用意します。滑りやすい床には滑り止めマットなどを用意し浴槽の出入り口には手すりを利用すると便利です。浴槽をまたいで入ることが困難な場合は、浴槽のヘリに座って回転させるボードや浴槽用リフトなどの便利な用具もあります。

体を洗う時も、全身が冷えないようにシャワーをかけながら行いましょう。忘れがちになる手足の指の間や脇の下などは、汗の溜まる部分ですので良く洗いましょう。特に麻痺のある方で、指と指が常にくっついていたりする場合は、ゆっくり開いてからしっかり洗いましょう。

要支援・要介護認定を受けている方であれば、手すりの設置などの改修にかかった費用の9割が支給される(限度額20万円)制度もあります。また、認知症の方で入浴を嫌がる場合や、身体的な理由から家での入浴が困難な場合は、介護保険で通所介護や訪問介護を利用することができます。いずれの場合もまずはケアマネージャーに気軽に相談してみてください。

グリーンホーム訪問介護 介護福祉士 石川

## 陽だまりの癒心猫 まさお まさおの縁側



◎平成25年12月15日  
御厨地区自治会連合会主催  
「こころの健康を守ろう！  
～こころの不調を見逃さないために～」  
の講演会で、当病院前沢院長が講師  
を務めました。

◎平成25年12月19日  
認知症サポーターの会主催  
「共用型デイサービスについて」  
の講演会で認知症高齢者グループホ  
ーム陽だまり管理者の工藤が講師を  
務めました。

詳細は、当広報誌でご紹介します！

## 医療・福祉に関するご相談・病院関連施設 に関するお問い合わせは……

- 地域連携相談室「ASSIST」  
アシスト  
☎0284-71-3191
- 地域活動支援センター「ハートランド」  
☎0284-70-0811

## 介護保険関連に関するお問い合わせは……

- 居宅介護支援事業者  
「グリーンホームケアプランセンター」  
☎0284-71-3170

……までお気軽にお問い合わせ下さい。

※入院・入所等のご相談等も随時受け付けております。

## 私たち、医療法人孝栄会の目標です。

### 法人理念

自分や自分の家族  
が望むサービスの  
提供を目指そう。

#### ●前沢病院●

私たちは、次に掲げる基本方針のもと、精神医療・高齢者医療に取り組みます。

1. 地域の中で、誤解なく精神医療が普及するよう努めます。
2. 精神障害者とご家族が、地域生活に「参加」し、「活動」しながら、「自分らしく生きること」を支援します。
3. 高齢者の「今」を大切にします。
4. 精神医療と高齢者医療から「施設障害」をなくすべく、チーム医療を実践します。

#### ●介護老人保健施設グリーンホーム●

私たち、介護老人保健施設グリーンホームは、

- 一、療養者の皆様に、「自分の家族にして欲しい介護」を提供する事を目指します。
- 一、療養者の皆様との、「共生」を目指します。
- 一、療養者の皆様の、「今」を大切にします。
- 一、療養者の皆様のために、「今、何ができるか?」「今、何をすべきか?」を常に考えて行動します。
- 一、これらの実現が、療養者の皆様とご家族様に対する、私たちの使命である事を忘れません。

#### ●認知症高齢者グループホーム陽だまり●

私たちは、

入居者様が重ねてこられた経験  
入居者様が今、持っている力  
今、住んでいる地域(まち)  
今、陽だまりで提供できること

を最大限活かす努力を惜しみません。  
そして、

「その人らしく」「いきいきと」生活して  
いただくことをお手伝いし、  
「その人らしく」をいつまでも…を  
目標にします。

## Access Map

### 自動車でお越しの方

- 佐野・藤岡IC(東北自動車道)より15分

### 電車でお越しの方

- 福居駅(東武伊勢崎線)より徒歩5分
- 足利駅(JR両毛線)よりタクシー12分
- 足利市駅(東武伊勢崎線)よりタクシー7分

栃木県足利市福居町1210番地

